

〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	-	総合計画	1 節 2 項	魅力ある新たな市街地の整備
担当課・係名	都市整備課区画整理事業推進室推進係【問合せ・質問等の先 横地 賢一（268、269番）】			

業務の名称	長湫南部土地区画整理事業																																							
(1)根拠法令・条例	土地区画整理法、長久手町土地区画整理組合に対する補助金交付条例																																							
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>28.00</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>205</u> 人・年 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・年)																																							
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>330,500</u> 千円 (平成18年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))																																							
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0.0</u> % (平成18年度実績)																																							
(5)業務期間	開始した年度	平成10年度	終了(予定)年度	平成24年度																																				
(6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)																																								
業務目的(達成目標)	魅力ある新たな市街地を整備するため、長湫南部土地区画整理事業の指導、監督及び国庫補助金の確保、町助成金の交付を行い、組合事業の進捗を図ること。																																							
業務が対象とする住民(地域、層)	長湫南部土地区画整理事業地内の地権者及び公共施設の利用者																																							
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	国庫補助金及び町助成金により都市計画道路築造工事、区画道路築造工事、排水路築造工事、整地工事、建物移転補償などを行い組合事業の進捗を図った。																																							
業務の実施結果 (平成18年度実績)	当該年度における工事等が施工できる国庫補助金が交付されるよう県に要望した。組合の指導・監督機関として、事業全般についての打合せ、工程調整会議への出席、必要に応じて県との調整等を行った。																																							
	【業務結果の説明指標】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度 実績</th> <th>18年度 実績</th> <th>19年度 目標</th> <th>将来目標 (H22完成度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>都市計画道路延長3,366mを整備</td> <td>92</td> <td>156</td> <td>0</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>区画道路延長16,700mを整備</td> <td>1,286</td> <td>2,734</td> <td>802</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>整地工事981,988㎡実施</td> <td>99,846</td> <td>51,700</td> <td>47,648</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>建物移転補償 12戸</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					結果の説明指標		17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標 (H22完成度)	1	都市計画道路延長3,366mを整備	92	156	0	100%	2	区画道路延長16,700mを整備	1,286	2,734	802	100%	3	整地工事981,988㎡実施	99,846	51,700	47,648	98%	4	建物移転補償 12戸	4	3	2	100%	5				
結果の説明指標		17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標 (H22完成度)																																			
1	都市計画道路延長3,366mを整備	92	156	0	100%																																			
2	区画道路延長16,700mを整備	1,286	2,734	802	100%																																			
3	整地工事981,988㎡実施	99,846	51,700	47,648	98%																																			
4	建物移転補償 12戸	4	3	2	100%																																			
5																																								
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	組合が処分した保留地、使用収益が開始された仮換地について、建物等が建築され始め、順次地区内の居住人口が増加している。今後は、公園・緑地などの整備し、居住環境の向上も図っていく。																																							
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>17年度 実績</th> <th>18年度 実績</th> <th>19年度 目標</th> <th>将来目標 (H22完成度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>保留地の供給 103,229㎡</td> <td>6,319</td> <td>47,274</td> <td>7,233</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>使用収益の開始 670,362㎡</td> <td>111,653</td> <td>77,585</td> <td>177,635</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>公園整備 8.69ha</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.37</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果の説明指標		17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標 (H22完成度)	1	保留地の供給 103,229㎡	6,319	47,274	7,233	100%	2	使用収益の開始 670,362㎡	111,653	77,585	177,635	100%	3	公園整備 8.69ha	-	-	0.37	21%	4						5				
成果の説明指標		17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標 (H22完成度)																																			
1	保留地の供給 103,229㎡	6,319	47,274	7,233	100%																																			
2	使用収益の開始 670,362㎡	111,653	77,585	177,635	100%																																			
3	公園整備 8.69ha	-	-	0.37	21%																																			
4																																								
5																																								

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
平成18年度末時点で、支出ベースで約50%の進捗率であり、今後は、事業の進捗に合わせた国庫補助金及び町助成金を確保し、計画的に工事・補償などを実施することで、早期の事業完了を目指す。

(8)改善実績（過去3年間の実績）
過去3年間において、事業計画の変更もしているが、ある一定期間で、事業計画の調整、資金計画の見直しをしており、国庫補助金については愛知県、助成金については町財政部局と十分調整をしている。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4点
		平均 3.3点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"> ①. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
評価理由	国庫補助金（町負担分）と町助成金の確保について、県及び町財政部局と調整し、ほぼ計画どおりに確保できたことで、それに見合う工事、移転補償などができてきている。ただし、まだ50%の進捗率の段階であり、今後も、計画的な事業の進捗を図り、早期の事業完了を目指すためにも、継続して事業を実施することが必要である。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
これまでに十分調整が図れている結果、計画的に事業進捗は図られている。ただし、これからが事業完了に向けてのより重要な時期となるため、工事・移転補償などの施工に見合う資金が確保できるよう、積極的な調整を図っていく。